

2010年事業報告

1. 会員の状況

①正会員：106名 新入会員：4名 退会者：0名	②協賛会員：10名 新入会員：1名 退会者：0名	③団体会員：14団体 新入団体：2団体 退会団体：0団体
--------------------------------	--------------------------------	------------------------------------

2. 事業の概略

特定非営利活動法人未来は、「地域と子どもの未来を^{つくる}創造」を基本理念として次に挙げる事業を実施した。

- (1) 未来ウオーク
- (2) 心のふれあいプロジェクト
- (3) シビックセンターたからや指定管理
- (4) 福祉サービス評価
- (5) 文芸
- (6) 「遥かなまち倉吉」映画化
- (7) 市民活動団体支援センター（CAPSくらよし）
- (8) 中部地域資源情報収集・活用・発信（12万活性化チーム）
- (9) 子育て応援隊
- (10) 子育て王国
- (11) 地域マネージャー（家守）
- (12) 鳥取県中部圏域の情報誌作成（tetete）
- (13) 環境に優しいEVカー観光ガイド人材育成
- (14) 移住定住促進
- (15) Touchで介護
- (16) その他協力事業
サッカークラブの運営（ウンビーゴ）

3. 事業の実施に関する事項

別紙参照

4. 会議に関する事項

【総会・定例会】 内容は下記のとおり。

月日	内 容	場 所	人数	備考
2月	年次通常総会 日韓ビジネスネットワーク開催決定・発表	ホテルセントパレス倉吉	41名	
4月		飛龍閣	51名	倉吉市長 石田耕太郎氏
6月	まちづくりプラン	倉吉シティホテル	41名	長浜まちづくり課 吉井茂人氏
8月	6次産業の取り組み・戸越銀座商店街の原状	倉吉シティホテル	41名	鳥取県東京本部 山本直生氏
10月	人・店づくりは地域づくり	ホテルセントパレス倉吉	58名	㈱一畑百貨店 中村勝輔氏
12月	忘年会 鳥取県のブランディング	はわい温泉羽衣	45名	トレードマーク 玖島裕氏

【理事会】 毎月第3水曜日に実施

2010年事業（活動）報告書

1. 事業部名	未来ウオーク
2. 活動成果	①世界初二カ国共同による「日韓ピースウオーキング」開催 韓国ウオーキング連盟と共同開催、原州市より27名参加 ②親子及び若者の参加が増加してきた。 ③ホームページの充実、マスメディア・情報誌等への効果的な 広報活動ができた。 ④鳥取県から50万円、とっとり中部ふるさと広域連合から100万円 の補助金が得られた。
3. 課題	①参加者拡大に努める ファッション性も取り入れ新たな層の参加者拡大 ②地域住民、諸団体、行政との連携に努める ③財政基盤の安定
4. 事業（活動）の内容	随時実行委員会、その他各部会、部会長会議 2月19日～21日「日韓ピースウオーキング」実施 韓国ウオーキング連盟より2名参加 5月22日未来ウオークボランティア説明会 6月1日～5日 日韓ピースウオーキング開催 6月5日・6日 第10回日本海未来ウオーク開催 (6月4日琴浦町にて日韓交流会) (延べ3,100人参加) (韓国から27名参加) 6月19日 未来ウオークボランティア反省会 10月11日インバウンド事業 「多言語対応ウオーキングパンフレット」作製 10月16日遥かなまち木の住まいウオーク (参加者約200人、内倉吉幼稚園約108名) 10月29日～11月2日 第16回韓国国際ウオーキング大会 (37名参加) 11月3日鳥取砂丘ウオーク 11月15日妖怪ウオーク 11月14日ノルディックウオーク 19のまちを歩こう事業 11月21日魚育事業「親子で魚食」(泊湊)

2010年事業（活動）報告書

1. 事業部名	心のふれあいプロジェクト
2. 活動成果	指導者養成講座で、赤ちゃん登校日の理解とコミュニケーション、事前学習の進め方、実地研修、さらにフォローアップ研修会で模擬授業を行い、赤ちゃん登校日の実践方法を学び、認定者4名が誕生し、県内各地で赤ちゃん登校日を進める基盤ができた。
3. 課題	赤ちゃん登校日を開催していただく学校が少ない。 実行委員・スタッフ不足。 赤ちゃん登校日に参加していただく保護者及び赤ちゃんの確保も問題。
4. 事業（活動）の内容	指導者養成講座1 （赤ちゃん登校日の理解とコミュニケーションを学ぶ） 4月27日 岩美町中央公民館（20人） 6月9日 シビックセンターたからや会議室（4人） 6月12日 鳥取県社会福祉人材研修センター研修室（4人） 6月12日 シビックセンターたからや会議室（3人） 7月10日 県立武道館研修室（5人） 7月16日 米子産業体育館 小会議室（3人） 指導者養成講座2 （赤ちゃん登校日の事前学習） 西伯小学校・東郷小学校・北浜中学校 中浜小学校・誠道小学校 （赤ちゃん登校日実地研修） ・西伯小学校4回 ・岩美西小学校2回 ・東郷中学校3回 ・渡小学校1回 ・中浜小学校2回 ・北浜中学校2回 ・上道小学校2回 ・岩美中学校3回 ・羽合小学校4回 ・外江小学校1回 ・誠道小学校2回 ・三朝東小学校2回 指導者養成講座3 （赤ちゃん登校日実践の為のスキルアップ研修） 1月8日 フォローアップ研修会 （講義・模擬授業・認定証授与式） 認定者4名 終了者15名

2010年事業（活動）報告書

1. 事業部名	シビックセンターたからや指定管理														
2. 活動成果	活性化委員会を通して、利用者とのコミュニケーションがはかれた。 夏まつりに【たから屋夜市】として参加し、シビックセンターたからやを認知できた。 1・2月のフリーマーケットの開催により、にぎやかさが演出できた。 共益費の追徴金により、収支が安定している。														
3. 課題	利用面積の増大と活性化の検討														
4. 事業（活動）の内容	シビックセンターたからやの管理 運営委員会の開催（毎月曜日） 活性化委員会の開催（毎月第3月曜日） 護美梨デーの実施（毎月15日） フリーマーケットの開催:1/31・2/28 夏まつりの参加:たから屋夜市 7/24・25・31 8/1・7・8:おばけ屋敷（1, 300人） 8/7:屋台等 利用状況の推移 退去：3団体 入居：4団体 <table><tr><td></td><td>利用面積（㎡）</td><td>利用団体数</td><td>文化教室数</td></tr><tr><td>2010年01月</td><td>970</td><td>35</td><td>6</td></tr><tr><td>2010年12月</td><td>998</td><td>36</td><td>6</td></tr></table>				利用面積（㎡）	利用団体数	文化教室数	2010年01月	970	35	6	2010年12月	998	36	6
	利用面積（㎡）	利用団体数	文化教室数												
2010年01月	970	35	6												
2010年12月	998	36	6												

2010年事業（活動）報告書

1. 事業部名	福祉サービス評価事業部
2. 活動成果	①外部評価においては、前年度実施した事業所が改善に向けた取組みをするなど評価の成果を見ることができた。 ②外部評価において新規の契約事業所は1ヶ所あり。 ③情報の公表の申し込みは、新規4、継続38で、合計44事業の調査を実施した。 ④ 登録している評価調査員の中で、特に新規の調査員ができるだけ調査に出られるように日程調整を行い、人材育成につとめた。 ⑤事業所向けの研修を新規のグループホームに出向き、1ヶ所実施した。ほぼ全員の職員の参加があり、外部評価についての意識の高さを認識できた。 ⑥保育所の第三者評価を1件実施した。倉吉市の保育園であり、今後も継続的に実施する方針がある。フォローアップ評価は実施していない。 ⑦鳥取県社会福祉・保健サービス評価機関の認証の更新時期であり、1月11日に査察を受け、更新が決定した。
3. 課題	①事業所に対しての呼びかけを5月頃より行い、年間計画として活動していく必要あり。 ②事業所などの整理は進んだが、会議録の整理が必要である。 ③外部評価に対する結果報告のまとめ方法（総括）を整備する。
4. 事業（活動）の内容	【地域密着型サービス評価】・・・9事業所 訪問調査員登録数：16名 《実施事業所》 ①認知症対応型共同生活介護（1ユニット）・・・1事業所 ②認知症対応型共同生活介護（2ユニット）・・・6事業所 ③小規模多機能型共同生活介護（登録25人以内）・・・2事業所 【第三者評価】・・・1事業所 訪問調査員登録数：19名 《評価実績》 保育所・・・1事業所（高城） 【介護サービス情報の公表】・・・50事業所 調査員登録数：36名 《調査実績》 ①訪問介護・・・6事業所 ②通所リハビリ：5事業所 ③訪問リハビリ・・・1事業所 ④通所介護・・・14事業所 ⑤居宅介護支援・・・9事業所 ⑥福祉用具貸与・・・4事業所 ⑦介護老人福祉施設・・・1事業所 ⑧介護老人保健施設・・・1事業所 ⑨特定有料介護施設・・・なし ⑩認知症対応型共同生活介護・・・7事業所 ⑪小規模多機能型居宅介護・・・2事業所 【その他】審査会20回（訪問前後1回ずつ）開催し、共通理解と学習の場とした。

2010年事業（活動）報告書

1. 事業部名	文芸事業部
2. 活動成果	「第4回とっとりどまんなかフェスタ」の開催
3. 課題	イベント独自の収益でようやく運営できる状態となったが、今後規模拡大していくためにスタッフの質を高め、さらに収益を増やして多彩な企画での開催を目指したい。
4. 事業（活動）の内容	ハワイアロハホールで「第4回どまんなかフェスタ」を開催。

2010年事業（活動）報告書

1. 事業部名	映画事業部
2. 活動成果	①映画化に向けての制作会社等への働きかけ、協力
3. 課題	①映画化推進に向けての取り組み方、制作会社等へのアプローチ。
4. 事業（活動）の内容	①シナリオハンティング支援 日時：平成22年3月23日（火）～25日（木） 場所：鳥取～智頭、倉吉 ㈱テレパック淡野氏、㈱黒澤プロダクション渡邊氏他計4名とともにシナリオハンティングに同行し、県内を案内した。 県内ロケを実現していく上での良いPRとなった。

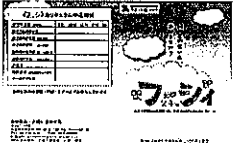
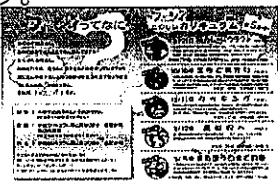
2010年事業（活動）報告書

1. 事業部名	市民活動団体支援センター設置運営事業(CAPSくらよし)
2. 活動成果	団体登録の呼び掛け 講座・情報交換会の開催 利用機器の貸し出し
3. 課題	団体登録数が少ない。 活動団体・利用者へのアプローチ
4. 事業（活動）の内容	1 市民活動団体の支援 ①団体の把握及び登録促進 (市内約80団体に案内 現在20団体) ②団体活動状況及びニーズの調査 ③団体への助成金情報の収集および提供 ③相談への助言及び情報提供 ④各種講座の開催(年3回) 第4回講座「チラシ・ポスター作成講座」 第5回講座「NPO法人立ち上げ講座」 第6回講座「はがき作成講座」 ⑤情報交換会の開催(年2回) 第3回 情報交換会 2 センターの管理運営 ①印刷機等事務機器の利用促進 ②ホームページの管理 ③情報誌の発行(年3回)

2010年事業（活動）報告書

1. 事業部名	中部12万活性化事業部
2. 活動成果	・うさぎの耳「tetetter」連載4月～3月（12回） ・日本海新聞「チューベスト」連載4月～3月（12回） ・大阪日日新聞への広告掲載5月・9月（2回） ・広域連合広報誌企画（5・8・11・2月号） ・鳥取中部ふるさと広域連合ホームページ更新（通年） ・新産業共通基盤6次産業化支援プロジェクト広報（モニターブースオープンチラシ、アンテナショップオープンチラシ等の制作） ・第10回日本海未来ウオーク広報活動（パンフレット等） ・日韓ピースウォーキング広報活動（ポスター、撮影等） ・鳥取中部観光名所PR映像制作 ・鳥取県19のまちを歩こう事業広報活動（ポスター、認定証等制作） ・倉吉市水道局「くらよしの水」パッケージデザイン制作 ・やらいや中部！実践者養成事業「たからやおばけ屋敷」広報活動（ポスター、Tシャツ等制作） ・情報誌「tetete」一部記事制作 ・情報誌「tetete」ホームページ制作 ・「ウォーキング立県とっとりをめざして！」英語・韓国語版パンフレット「VISIT TOTTORI」制作 ・「遥かなまち倉吉 木の住まいウオーク」大会チラシ制作 ・「B級グルメ食の秋フェスタ」ポスター、チラシ制作 ・「親子で魚食」大会チラシ制作 ・「はじめてのノルディック&ウオーク智頭大会」大会チラシ制作 ・韓国ドラマ「アテナ」ロケ地の広報活動（ポスター、パンフレット、写真フレーム等） ・鳥取牛骨ラーメンスタンプラリー広報活動（ポスター、チラシ、ホームページ制作等） ・東郷池周回ウォーキングコース看板受注制作（¥180,000） ・梨の花温泉郷ホームページリニューアル受注制作（¥300,000）
3. 課題	・1年後の委託事業終了に向けて、自立可能な体制づくりをしていかなければならない。
4. 事業（活動）の内容	第6次産業の振興やサブカルチャー等のシーズについて、地元住民が気付かない地域の宝を発掘・加工し、成果として、交流人口増加の動機付けとなる市・町ごとの新たなタウンマップの作成や、地域情報としてのみならず将来的には通信販売のツールにも発展できるWEB上での地域資源の紹介など全国に情報発信する事業に取り組む。 1 インターネットを使った情報発信 ・とっとり梨の花温泉郷ホームページリニューアル ・第10回日本海未来ウオークホームページ制作 ・県内3つのメーリングリストでの情報発信 ・ブログ「NPO未来のキセキ」での情報発信 ・短文投稿サイト「ツイッター」での情報発信 ・人気サイト「ラーメンデータベース」へのバナー設置による鳥取牛骨ラーメンの全国的広報 2 メディアを使った情報発信 ・日本海新聞への取材依頼や企画持ち込み ・うさぎの耳「tetetter」への完全入稿 ・日本海新聞「チューベスト」の企画、広告制作 ・情報誌「tetete」を活用した県外への情報発信 3 観光PR用新規広報材料制作 ・鳥取中部の観光名所PR映像の制作 4 各種地域イベントの成功支援

20010年事業（活動）報告書

1. 事業部名	子育て応援隊(企業・店舗) 育成事業
2. 活動成果	①「とっとり子育て応援パスポート事業」協賛店舗の拡大 ②「ときめき巡り逢いコーディネート事業」のめぐりあいサポーター拡大 ③父親の育児参加促進イベントの実施 イベント名：フーシィ（全5回） ④子育て応援パスポート加入促進イベントの実施。 
3. 課題	・パスポート協賛店加盟店舗数の拡大 ・倉吉市子育て買い物応援事業、日本海新聞うさみみクラブとの提携 ・イベントの広報のルート確立、強化
4. 事業（活動）の内容	趣旨・目的 子育てしやすい環境づくりを目指し、経済支援や親子の絆づくりのイベントなどを勧めた ①子育て応援パスポート事業 協賛店舗の新規加盟の営業。日本海新聞うさみみクラブや倉吉子育て支援カードとのサービス統一を目指し活動した。 ②ときめき巡り逢いコーディネート事業 新規開拓を進めると共に既存店舗へのイベント実施の依頼を行った。 飲食店・カラオケ店・書店などでカード設置の依頼をした。 ③父親の育児参加促進イベントの実施 フーシィ～父と子のかけがえのない思い出をつくるカリキュラム2010～ 1. クラフト 日程：8月21日 場所：北条オートキャンプ場 ・自然にある物（枝・木の実）を使いKAMIあかりを作成した。 2. まちとあかり 日程：10月13日 場所：パープルタウン&白壁土蔵群 ・白壁土蔵の建物をモデルにフォトモ（写真のジオラマ）作成。完成後木の住まいウオークに参加し、歩きながら自分の作った風景を探した。 3. クッキング 日程：12月5日 場所：伯耆しあわせの郷 ・薬膳料理教室を行った。完成後クリスマス会も行い、交流を深めた。 4. 銀世界へ 日程：2月13日 場所：船上山 ・雪山でそり、スノーシューなど様々な雪遊びを行う。 5. また逢う日まで約束 日程：3月5日 ・活動の振り返りながら、交流会を行う。  ④子育て応援パスポート加入促進イベントの実施 満采館・あぐりポート琴浦・クラカフェで子育てパスポートの加入促進イベントを実施した。

2010年事業（活動）報告書

1. 事業部名	子育て王国情報発信
2. 活動成果	・ 県内各地の子育て施設や団体等の情報をホームページや新聞広告で発信した。 ・ より見やすくより更新しやすいサイトにするため、リニューアルに着手した。
3. 課題	・ アクセス数のさらなる増大 ・ 双方向のコミュニケーションを図ること
4. 事業（活動）の内容	1 鳥取県子育ての公式ホームページ制作・管理更新 県内の子育て支援施設、団体、企業など22か所を訪問し、インタビュー内容などの記事を作成、更新した。 子育て応援パスポート新規協賛店の情報を275店掲載した。 子育て応援パスポート利用者にメールマガジンを発行した。 コンテンツマネジメントシステムの導入準備を進めた。 2 各種掲載広告の作成 子育て支援総室の新聞広告（半5段広告）を9回作成した。 日本海新聞のウェブサイトに掲載するバナー広告を作成した。

2010年事業（活動）報告書

1. 事業部名	地域マネージャー（家守）事業
2. 活動成果	①市役所五課との情報交換会を開催（総合政策室、文化財課、景観まちづくり課、商工観光課、市民参画課） ②空き店舗の利活用による飲食店開業（4月28日） ③地域活性化を目的としたイベントの開催（3月激論フォーラム、11年1月2月フリーマーケット） ④空き店舗利活用マネージメント（10月魚町小林邸改修計画、12月新町一丁目竹内邸改修計画の依頼に対してマネージメント）
3. 課題	①空き店舗利活用に際してレジデンス方式の導入（アーティストもしくはワーキングによる再生の促進化） ②愛郷心を持つ在住若者世代との意見交換および組織化 ③空き店舗利用希望者の選択制度を確立（入れる物より、入る者に活性化の重点を置きたい）
4. 活動内容	成果①倉吉中心市街地活性化を計ってきた市役所五課の相互連携と情報共有を促進するために、つまりは当該事業の円滑な進行のために五課＋倉吉商工会議所との合同会議を開催した。結果、特に空き店舗の内部情報を把握している文化財課との情報交換が促進された。しかしながら第二の再生事業に着手出来ておらず、大きな課題を残している。 ②新町一丁目野崎邸の賃借交渉が成立して、観光客を主対象とした”食べ歩き”商品を扱う店舗の開業を果たすことができた。しかし、経営デザインは当初時から逸脱蛇行して来ており、早急の改善（店舗リフォーム、商品開発を含む）が必要になって来ている。 ③倉吉中心市街地の東端に位置する「たからや」の立地を活かし地域活性化を目的として、若者世代に焦点を当てたフォーラム（『いま君にとって鳥取は魅力的か？！』）を開催した。また同目的で住民交流チャンスを拡大する試みとしてフリーマーケット（『おたからや』）を二度にわたって実施した。イベントによる地域活性の確実な成果を得られるまで継続していきたい。 ④まち歩きを重ねた結果、住民から空き店舗の情報が寄せられるようになり、結果、賃貸交渉応諾の店舗数は5件（魚町3、東仲町1、西町1）ある。一方、開業希望者は4名（団体1を含む）になるが、事業内容が重なる上に観光客だけを向いていて地元で暮らす人々に利便性をもたらす可能性が見られない。家主の動向を考慮すると今後、広く公募する仕組みを作ると同時に、地元還元型の開業に絞り込むなどの希望者選択制度を確立して、家守事業が画餅にならぬよう深化、現実化して行きたい。

2010年事業（活動）報告書

1. 事業部名	鳥取県中部圏域の情報雑誌作成業務
2. 活動成果	・ 3月31日に、創刊準備号を発行した。 ・ 10月31日に、創刊号を発行した。
3. 課題	・ スポンサーの獲得 ・ 販売部数、販売場所の拡大
4. 事業（活動）の内容	<tetete> 2月～3月 創刊準備号 企画・制作・発行 4月～9月 創刊号 企画・制作 10月31日 創刊号 発行 11月～12月 第2号 企画・制作

2010年 EVカー事業（活動）報告書

1、事業部名	EVカーを活用した、白壁土蔵群赤瓦地区観光推進事業
2、活動成果	①稼働日数（127日）②ガイド組数（490組）③ガイド人数（1102人） ④EVカーに乗られた（1102人）全員から、この事業を、是非211年度以降も続けて欲しいと強い要望があった。 ⑤白壁土蔵群赤瓦地区の各商店からも、EVカー事業を211年度以降も、是非続けて欲しいと要望があり、EVカー「れとろん」の存在価値が高まっており短期間で白壁土蔵群赤瓦地区観光推進に、貢献ができた成果は大きい。
3、課題	※「EVカー観光推進事業」を緑ナンバー営業だけにした場合、維持継続は難しいと思う。
4、事業（活動）の内容	（5月～6月） ① ガイドのコース、地図の作成、歴史文化財の勉強、白壁土蔵群赤瓦地区の各商店の特徴を見聞きして、ガイドの基礎作りをした。 ② ガイド時間を、20分、30分コースを作り実験的にガイドをしてみて、アンケートによるデータ収集をした。 ③ 日本海未来ウォークの会場で、EVカーを展示3100人のウォーカーと、インターネットで愛称の募集PRをした結果「れとろん」に決定した。 ④ NHKテレビ放送（ふるさと一番）で「れとろん」が全国にPRされた。 （7月～9月） ① 有料ガイドの場合、いくらなら「れとろん」に乗るかアンケートでデータ収集をした。 ② 倉吉夏祭りで、石田市長に乗車していただき、パレードの先頭を走行して祭りを盛り上げた。 ③ 平井知事ご夫妻が倉吉に来られた時「れとろん」に乗車され大変喜ばれた。 ④ 地元の方にも積極的に声かけして、乗車してもらいPRしてもらうようにもした。 ⑤ 白壁土蔵群赤瓦地区の各商店と、積極的にコミュニケーションをとるようにした。 （10月～12月） ① 白壁土蔵群赤瓦地区の各商店にも「れとろん」に体験乗車してみてもと、声かけした結果、新入社員の研修や商店主の県外の知人友人が、倉吉にこられたとき「れとろん」を接待に使われた。 ② 11月末「れとろん」1000人目乗車記念イベントを開催。（石田市長、倉吉商工会議所副会頭、NPO法人未来 岸田理事長他、多くの方に参加していただき、イベントを、盛り上げた。各マスコミの取材により「れとろん」が広くPRされた。 ③ 観光案内所、各商店に「れとろん」のポスターを掲示、又、チラシを置きより分かりやすく、多くの方に利用してもらうようにした。 ③ NPO法人未来と倉吉観光協会のホームページで「れとろん」を紹介してもらうようになった。

2010年事業（活動）報告書

1. 事業部名	移住定住促進事業
2. 活動成果	サイトオープン前のため、活動成果は今後
3. 課題	エポック3との共通目標として「中部への移住定住」があるが、目標達成の手段としてサイトがどう生きていくか。
4. 事業（活動）の内容	移住定住サイトの企画 通常の「待ち」型移住定住サイトではなく新しい切り口を導入にした「攻め」型のコンセプト。「起業希望者」「ボランティア希望者」が募り、その場所として適している場所「鳥取中部」という思考回路で移住定住を促進。そのコンセプトで地方に移住することを「Tターン」というネーミングにしていく計画。

2010年事業（活動）報告書

1. 事業部名	Touchで介護
2. 活動成果	・ 10月14日より鳥取県成長戦略交付金を受け事業をスタート。 ・ 年末に日本海新聞に掲載された「写撮る（しゃとる）メール」をはじめとして介護施設ご利用者のご家族のコミュニケーションを促進するサービスを提供中。
3. 課題	・ 多種多様なニーズに応えるサービスの提供 ・ サービス利用者の拡大
4. 事業（活動）の内容	1 介護施設ご利用者のご家族のコミュニケーション促進サービスの提供 遠方にお住まいのご家族と、介護施設ご利用者のメールによるコミュニケーションの支援を介護施設（三喜苑様、マグノリア様）と共同で年末から年明けにかけて行った。 2 介護施設内での情報管理コンサルタント 介護施設職員様の情報管理にかかる負担を減らすべく、施設内の情報管理のコンサルタントを開始した。Excelのマクロによる自動化からスタートし、2011年には数十時間規模で労働時間の削減を目指す。

2010年事業(活動)報告書

1. 事業部名	ウンビーゴフットボールクラブ事業部			
2. 活動成果	・OBの福井理人選手のガイナレ鳥取入団決定 ・鳥取短大付属幼稚園にて講師をさせて頂き、未就学幼児の入部が増え始めた。			
3. 課題	・勝利至上主義でなく、選手の将来に繋がる育成を主たる目的としている事を、広く知ってもらうための広報活動が必要である。			
4. 事業(活動)の内容	月	カテゴリー	活動内容	備考
	4	全体	ウンビーゴFC大会	
		全体	ファミリーフットサル大会参加	
		Jr	中部ジュニアサッカー連合会新人戦出場	
	5	JY	サッカー祭出場	
		JY	3種リーグ戦	5月～8月
		事務局	広報誌発行	
		Jr	全日本少年サッカー鳥取県大会中部予選出場	
	6	大人	まつだ杯フットサル大会出場	男子チーム・女子チーム
		JY	クラブユース選手権鳥取県大会出場	
		Jr	マグドナルドU-10ちびっ子大会出場	
	7	Jr	中部ジュニアサッカー連合会U11新人リーグ(1stステージ)出場	
		Jr	総社市市長杯(三渡海サッカー大会)U-12出場	
		JY	総社市市長杯(三渡海サッカー大会)U-15出場	
	8	JY	とりっこリーグ出場	
		Jr	倉吉打吹ライオンズクラブリーグ 少年サッカー大会出場	
		Jr	4種リーグ戦	8月～12月
		JY	高宮杯ジュニアユース選手権中部予選出場	
	9	ジュニア	鳥取県U-10大会中部予選出場	
		JY	高宮杯ジュニアユース選手権鳥取県大会出場	
		ジョマジカ	中部フットサルリーグ1部参戦	9月～11.3月
		プリンカール	中部フットサルリーグO-35部参戦	"
	10	Jr	全山陰少年サッカー鳥取県大会中部地区予選出場	
		FeO	倉吉市市民フットサル大会出場	
	11	Jr	全日本少年フットサル大会「バーモントカップ」中部予選出場	
	12	Jr	全日本少年フットサル大会「バーモントカップ」県大会	
	1	全体	「完山徹一選手 応援弾丸ツアー」敢行	45名参加予定
		Jr	中部ジュニアフットサル大会出場	
		JY	鳥取県総合フットサル大会U-15クラス	
		FeS(女性)	フェミニティリーグ出場	1月～10.3月
	2	JY	ユースフットサル選手権中部予選出場	参加予定
		Jr	鳥取県少年サッカーU-11大会中部地区大会出場	ディビジョンIに出場予定
		ジョマジカ	鳥取県フットサルリーグ参入戦出場予定	高校生・社会人のフットサルチーム
		FeS(女性)	エンジョイリーグ出場予定	
	3	JY	JFAプレミアカップ中部予選出場予定	
		Jr	倉吉打吹ライオンズクラブリーグ少年サッカー大会出場予定	
	通年	指導部	鳥取短大付属幼稚園"サッカー遊び"講師(毎週1回)	

第 7 期

収 支 計 算 報 告 書

自：平成22年 1月 1日

至：平成22年12月31日

(非営利活動事業)

特定非営利活動法人 未来

理事長 岸田 寛昭

特定非営利活動法人にかかる収支計算

収支計算書

平成 22年 1月 1日 から平成 22年 12月 31日 まで

NPO法人 未来
(単位:円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 入会金収入		
入会金収入	50,000	50,000
2 会費収入		
正会員会費収入	611,500	
団体会員会費収入	130,000	
賛助会員会費収入	11,000	752,500
3 事業収入		
事業収入	91,715,545	91,715,545
4 補助金等収入		
地方公共団体補助金収入	1,072,000	1,072,000
5 寄付金収入		
寄付金収入	2,120,140	2,120,140
6 雑収入		
受取利息	4,705	
雑収入	947,675	952,380
経常収入合計		96,662,565
II 経常支出の部		
1 事業費		
事業費	85,292,422	85,292,422
2 管理費		
給料手当	719,367	
賞与	230,000	
法定福利費	30,332	
福利厚生費	15,000	
会議費	314,588	
交際費	374,258	
旅費交通費	319,286	
通信運搬費	897,518	
消耗什器備品費	930,242	
消耗品費	241,236	
修繕費	45,190	
燃料費	31,567	
光熱水料費	32,476	
賃借料	1,943	
保険料	68,570	
諸謝金	50,000	
租税公課	9,400	
諸会費	7,680	
雑費	1,094,226	
法人税、住民税及び事業税	198,734	5,611,613
経常支出合計		90,904,035
経常収支差額		5,758,530
III その他資金収入の部		
1 その他の収入		
仮受消費税等受入収入	2,486,309	2,486,309
その他資金収入合計		2,486,309
IV その他資金支出の部		

特定非営利活動法人にかかる収支計算
収支計算書

平成 22年 1月 1日 から平成 22年 12月 31日 まで

NPO法人 未来

科 目	金	額
1 固定資産取得支出		
建物購入支出	3,862,460	
その他固定資産取得支出	200,000	4,062,460
2 その他の支出		
長期未払金支払支出	2,057,580	
仮払消費税等支払支出	2,486,309	4,543,889
その他資金支出合計		8,606,349
当期収支差額		-361,510
前期繰越収支差額		-1,122,713
前期繰越収支差額調整額		0
次期繰越収支差額		-1,484,223
(正味財産増減の部)		
Ⅴ 正味財産増加の部		
1 資産増加額		
当期収支差額	-361,510	
期末たな卸高	916,176	
建物購入額	3,862,460	
その他固定資産増加額	200,000	
仮払消費税等増加額	2,486,309	7,103,435
2 負債減少額		
長期未払金支払額	2,057,580	2,057,580
増加額合計		9,161,015
Ⅵ 正味財産減少の部		
1 資産減少額		
期首たな卸高	939,396	
固定資産圧縮額	3,024,459	
建物減価償却額	34,916	
什器備品等減価償却額	425,056	
リース資産減価償却額	1,660,625	6,084,452
2 負債増加額		
仮受消費税等増加額	2,486,309	2,486,309
減少額合計		8,570,761
当期正味財産増加額		590,254
前期繰越正味財産額		-180,833
期末正味財産合計額		409,421

特定非営利活動法人に力ける貸借対照表

貸借対照表

平成 22年 12月 31日 現在

NPO法人 未来
(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	317,274		
普通預金	22,431,195		
未収会費	122,000		
未収金	4,842,198		
商品	865,356		
貯蔵品	50,820		
立替金	7,693,523		
仮払金	283,500		
流動資産合計		36,605,866	
2 固定資産			
建物	803,085		
什器備品	9,146		
一括償却資産	402,190		
リース資産	2,075,782		
電話加入権	59,240		
出資金	200,000		
固定資産合計		3,549,443	
資産合計			40,155,309

特定非営利活動法人にかかる貸借対照表

貸借対照表

平成 22年 12月 31日 現在

NPO法人 未来

科 目	金 額		
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	12,480,910		
前受金	24,341,233		
預り金	151,770		
仮受金	200,000		
流動負債合計		37,173,913	
2 固定負債			
長期未払金	2,571,975		
固定負債合計		2,571,975	
負債合計			39,745,888
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		-180,833	
当期正味財産増加額		590,254	
正味財産合計			409,421
負債及び正味財産合計			40,155,309

特定非営利活動法人に力がる財産目録
財 産 目 録
 平成22年12月31日現在

NPO法人 未来
(単位:円)

(非営利活動事業)

科 目 ・ 摘 要	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	(317,274)	
普通預金	(22,431,195)	
山陰合同銀行 (3606265) 本部	19,136,271	
山陰合同銀行 (3640012) たからや	1,578,737	
山陰合同銀行 (3643386) 心プロ 決済	648,000	
山陰合同銀行 (3645231) 心プロ	630,549	
鳥取銀行 (0050640) 外部評価	283,739	
鳥取銀行 (0050593) 情報の公表	153,899	
未収会費	(122,000)	
正会員年会費	102,000	
団体会員年会費	10,000	
協賛会員年会費	10,000	
未収金	(4,842,198)	
たからや利用料 ・ 共益費	527,713	
韓国ウォーク運営費補助金 ・ 鳥取県	1,347,000	
外部・第三者評価 ・ 情報の公表調査料	459,200	
22.4～12月分おやきや家賃 ・ くらよし町屋塾	450,000	
広告委託料 ・ 岩谷産業	30,000	
地域マネージャー事業委託料 ・ 鳥取県協働課	1,588,915	
インバウンド事業補助金 ・ 鳥取県国際観光推進課	439,370	
商品	(865,356)	
未来ウォークCD	513,756	
未来ウォークTシャツ	351,600	
貯蔵品	(50,820)	
未来ウォーク飲料用容器	50,820	
立替金	(7,693,523)	
おやきや費用立替 ・ くらよし町屋塾	415,818	
モニタリング事業費用立替	1,480,910	
6次産業プロジェクト事業費立替 ・ 新産業共通基盤	5,796,795	
仮払金	(283,500)	
一時立替分 ・ 第一プロパン	283,500	
流動資産合計		36,605,866
2 固定資産		
建物	(803,085)	
おやきや内装改修工事	1	
おやきや外装改修工事	803,084	
什器備品	(9,146)	
ノートパソコン(心プロ)	9,146	
一括償却資産	(402,190)	
富士通FMV(情報の公表)	39,500	
富士通FMVノート(市民活動)	60,550	
富士通FMVデスクトップ(市民活動)	60,550	
綿菓子作成機(未来ウォーク)	35,000	
ポップコーン作成機(未来ウォーク)	45,590	
エプソンプロジェクター(市民活動)	65,800	
エプソン100型スクリーン(市民活動)	38,500	
富士通FMVノート(市民活動)	56,700	
リース資産	(2,075,782)	
リコーイマジオMP(市民活動)	414,225	
理想科学リソグラフ(市民活動)	253,575	
エプソンスキャナ(中部12万)	127,507	
DELLパソコン(子育て王国)	223,650	
DELLパソコン(子育て応援隊)	185,850	
スバルサンバーバン(中部12万)	582,750	
スバルプレオバン(子育て応援隊)	288,225	

科 目 ・ 摘 要	金 額		
電話加入権	(59,240)		
0858-22-9791	34,440		
0858-22-8999	24,800		
出資金	(200,000)		
LLPエポック3	200,000		
固定資産合計		3,549,443	
資産合計			40,155,309
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	(12,480,910)		
電話料	20,254		
送料 ・ ヤマト運輸、佐川急便	14,915		
確定消費税	1,686,800		
21年12月分本部人件費	31,050		
事務手数料21年分 ・ 山田税理士事務所	126,000		
事務用品 ・ カウネット	60,420		
事務備品 ・ 衣笠商会	50,000		
ETC取付費 ・ 平岩自動車	10,500		
イベント景品 ・ 鳥取大丸	43,833		
韓国ウォーク参加旅費 ・ 新日本海新聞社	1,296,500		
たからや施錠代行、警備料 ・ 山陰警備保障	21,000		
たからや電気設備修理 ・ 岡田電工	157,500		
たからや事務用品 ・ カウネット	17,363		
たからや開錠代行料 ・ 衣笠 義雄	19,600		
モップ代他 ・ リースキン	2,394		
トイレ清掃委託料 ・ シルバー人材センター	6,048		
上下水道料12月分 ・ 倉吉市	15,527		
電気料12月分 ・ 中国電力	552,141		
22年12月分情報開示・外部評価謝金、交通費 ・	134,000		
22年12月外部評価人件費	153,450		
地域マネージャー人件費12月分	329,750		
地域マネージャー電気料12月分 ・ 中国電力	15,566		
地域マネージャー水道料12月分 ・ 倉吉市	3,174		
地域マネージャー携帯電話料12月分 ・ AU	3,263		
地域マネージャーイベントチラシ作成料 ・ 山本印刷	73,500		
市民活動事業人件費12月分	287,200		
市民活動事業パフォーマンスチャージ料 ・ 衣笠商会	80,968		
中部12万事業人件費12月分	720,000		
中部12万事業携帯電話料12月分 ・ ソフトバンク	26,667		
中部12万事業携帯電話料12月分 ・ AU	7,377		
中部12万事業イベント広告費 ・ 新日本海新聞社	324,166		
中部12万事業ガソリン代 ・ 打吹商事	5,258		
中部12万事業コピー代 ・ スイコー商会	2,742		
子育て応援隊事業人件費12月分	170,000		
子育て応援隊事業ガソリン代 ・ 打吹商事	7,236		
子育て王国事業人件費12月分	170,000		
情報誌作成事業人件費12月分	543,157		
情報誌作成事業携帯電話料12月分 ・ ドコモ	14,401		
情報誌作成事業広告料 ・ 新日本海新聞社	41,666		
情報誌作成事業ガソリン代 ・ 打吹商事	9,369		
情報誌作成事業掲載用写真撮影 ・ 池本喜巳	157,500		
情報誌作成事業印刷代 ・ 山本印刷	1,260,000		
情報誌作成事業コピー代 ・ スイコー商会	2,883		
情報誌作成事業タイヤ代 ・ 平岩自動車	67,884		
EVカー事業人件費12月分	180,800		
EVカー事業携帯電話料12月分	989		
EVカー事業防風窓取付 ・ 寿テント	126,000		
移住定住事業人件費12月分	720,000		
移住定住事業パソコン・ソフト ・ トレードマーク	396,437		
移住定住事業広告掲載料 ・ トレードマーク	367,500		

科 目 ・ 摘 要	金 額		
移住定住事業施設利用料 ・ たからや	123,492		
移住定住事業備品 ・ カウネット	65,960		
タッチで介護事業人件費12月分	480,000		
タッチで介護事業携帯電話料12月分 ・ ソフトバンク	12,086		
社会保険料11・12月分	1,264,624		
前受金	(24,341,233)		
23年分たからや利用料前受	1,515,223		
23年心プロ事業委託費 ・ 鳥取県家庭地域課	539,056		
23年以降市民活動事業委託費 ・ 倉吉市市民参画課	1,476,023		
23年以降中部12万事業活動委託費 ・ 中部ふるさと広域連合	1,644,619		
23年以降子育て応援隊事業委託費 ・ 鳥取県子育て室	1,027,525		
23年以降子育て王国事業委託費 ・ 鳥取県子育て室	1,725,587		
23年以降情報誌作成事業委託費 ・ 中部ふるさと広域連合	6,620,799		
23年以降EVカー事業委託費 ・ 倉吉市商工観光課	2,203,878		
23年以降19のまちを歩こう事業委託費 ・ 鳥取県健康政策課	1,248,031		
23年以降元気シニア事業委託費 ・ 鳥取県長寿課	237,617		
23年以降移住定住事業委託費 ・ 中部ふるさと広域連合	5,126,301		
23年以降タッチで介護事業委託費 ・ 鳥取県産業振興総室	399,355		
23年以降魚育事業補助金 ・ 鳥取県子育て室	577,219		
預り金	(151,770)		
給与源泉預り	114,874		
情報誌委託販売売上	36,896		
仮受金	(200,000)		
理事一時借入金	200,000		
流動負債合計		37,173,913	
2固定負債			
長期未払金	(2,571,975)		
車両リース未経過リース料 ・ クリエイティブオート	582,750		
車両リース未経過リース料 ・ 山陰総合リース	1,152,900		
プリンタ他リース未経過リース料 ・ 山陰総合リース	288,225		
パソコン他リース未経過リース料 ・ 山陰総合リース	548,100		
固定負債合計		2,571,975	
負債合計			39,745,888
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		-180,833	
当期正味財産増加額		590,254	
正味財産合計			409,421

第 7 期

収 支 計 算 報 告 書

自：平成22年 1月 1日

至：平成22年12月31日

(その他の事業)

特定非営利活動法人 未来

理事長 岸田 寛昭

貸借対照表

平成 22年 12月 31日 現在

NPO法人 未来
(単位:円)

科 目	金	額	
I 資産の部 資産合計			0

貸借対照表

平成 22年 12月 31日 現在

NPO法人 未来

科 目	金 額
Ⅱ 負債の部	
負債合計	0
Ⅲ 正味財産の部	
正味財産合計	0
負債及び正味財産合計	0

財産目録

平成22年12月31日現在

NPO法人 未来
(単位: 円)

(その他の事業)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	(0)		
普通預金	(0)		
未収会費	(0)		
未収金	(0)		
流動資産合計		0	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	(0)		
預り金	(0)		
流動負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増加額		0	
正味財産合計			0

収支計算書

平成 22年 1月 1日 から平成 22年 12月 31日 まで

NPO法人 未来
(単位:円)

科 目	金 額
(資金収支の部)	
I 経常収入の部	
経常収入合計	0
II 経常支出の部	
経常支出合計	0
経常収支差額	0
III その他資金収入の部	
その他資金収入合計	0
IV その他資金支出の部	
その他資金支出合計	0
当期収支差額	0
前期繰越収支差額	0
前期繰越収支差額調整額	0
次期繰越収支差額	0
(正味財産増減の部)	
V 正味財産増加の部	
増加額合計	0
VI 正味財産減少の部	
減少額合計	0
当期正味財産増加額	0
前期繰越正味財産額	0
期末正味財産合計額	0

収支計算書（事業収支）

平成 22年 1月 1日 から平成 22年 12月 31日 まで

NPO法人 未来

科 目	金	額	
1 事業収入 事業収入合計		0	
2 事業費 事業費合計 当期事業収支差額		0	0

収益事業収支計算書

平成 22年 1月 1日 から平成 22年 12月 31日 まで

NPO法人 未来
(単位：円)

科 目	金 額		
(事業活動損益の部)			
I 事業活動収入			
事業活動収入合計			0
II 事業活動費用			
事業活動費用合計			0
事業活動利益 (損失)			0
(事業活動外損益の部)			
III 事業活動外収入			
事業活動外収入合計			0
IV 事業活動外費用			
事業活動外費用合計			0
事業活動外利益 (損失)			0
経常利益 (損失)			0
(特別損益の部)			
V 特別利益			
特別利益合計			0
VI 特別損失			
特別損失合計			0
税引前当期正味財産増加額			0
当期正味財産増加額			0
前期繰越正味財産額			0
期末正味財産合計額			0

前事業年度の役員名簿

特定非営利活動法人 未来

役名	氏 名	住所又は移住	就任期間	報酬を受け た期間
理事	岸 田 寛 昭	倉吉市上井783番地24	22年1月1日～22年12月31日	無
理事	遠 藤 公 章	東伯郡湯梨浜町大字園2226番地2	22年1月1日～22年12月31日	無
理事	松 田 隆	倉吉市新町3丁目1178番地	22年1月1日～22年12月31日	無
理事	岩 本 龍 司	東伯郡北栄町由良宿1003番地1	22年1月1日～22年12月31日	無
理事	石 亀 靖	倉吉市服部695番地	22年1月1日～22年12月31日	無
理事	讃 岐 英 夫	倉吉市清谷町1丁目86番地2	22年1月1日～22年12月31日	無
理事	山 田 悌 次	東伯郡湯梨浜町大字園728番地3	22年1月1日～22年12月31日	無
理事	池 原 清 美	米子市両三柳211番地	22年1月1日～22年12月31日	無
理事	谷 本 弘 樹	倉吉市金森町26番地	22年1月1日～22年12月31日	無
理事	水 野 聖 子	東伯郡三朝町大字穴鴨458番地	22年1月1日～22年12月31日	無
理事	八 代 慎 一	倉吉市海田南町249番地4	22年1月1日～22年12月31日	無
理事	山 崎 信 吾	倉吉市上井779番地11	22年1月1日～22年12月31日	無
監事	廣 田 和 幸	倉吉市昭和町2丁目57番地	22年1月1日～22年12月31日	無
監事	向 井 潤	倉吉市上灘町18番地	22年1月1日～22年12月31日	無